

題目

研究発表者名・所属

共同研究者名・所属

連絡先（住所・TEL・E-mail）

【概要】

日本語（200～250字）で記述下さい

キーワード：（5つ以内）

1. 教育改善の目的・目標

教育上の問題点を具体的に明らかにし、アクティブ・ラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質的転換に向けた、ICT 利用による教育改善の具体的な目的・目標・解決策等を明瞭に示して下さい。

教育上の問題点（例）：基礎学力の低下、主体性・学修意欲の低下、出席率の低下 など

2. 授業概要と教育改善の内容

教育改善の目的・目標を達成する際の問題を、ICT を利用して、どのように改善しようとしたのかを記述して下さい。

（1）授業概要

配当年次、単位数、クラス数、履修者概数、位置付け、学修到達目標

（2）改善内容

改善の経緯とその内容

3. 教育実践による教育効果とその確認

学びが向上した等の教育改善の効果を、データなどに基づいて客観的に示して下さい。（できるだけ統計的検定結果を含めて下さい。）

（客観的に改善効果を示すための参考例）

<質的分析の検定結果等から>

（例1）受講生のアンケート集計で、明らかな教育効果向上の知見が得られた。

（例2）各大学の公式授業アンケートの自由記述の集計結果から、明らかな教育効果向上の知見が認められた。

（例3）独自のアンケートの自由記述中に、明らかな教育効果向上の知見が認められた。

<量的分析の検定結果等から>

（例1）国家試験等の合格者数の明らかな伸びが認められた。

（例2）期末テスト等の経年比較において、明らかな教育効果の向上（成績改善）が認められた。

（例3）プリ・ポストテストの結果、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例4）各大学の e-Learning システムの LMS データ等の分析で、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例5）各大学での公式授業アンケート結果で、明らかな教育効果の向上が認められた。

4. 結果と考察

○ 結果を分析し、明らかになったことから、ICT の利活用によって教育改善に、貢献した要因、貢献した程度、ICT の利活用の注意点、さらには、今後の発展性等についても、明確に述べて下さい。

○ また、残された課題や問題点等も、明記して下さい。

5. 謝辞

研究協力者名（企業、学生など研究に協力した人）は、ここに含めて下さい。

6. 参考文献および関連 URL

以下のように表記下さい。

[1] 著者：タイトル、論文誌名、**巻番号（ゴシック体）**、ページ番号、年（西暦）

[2] 著者：タイトル、出版社名、年（西暦）

[3] ホームページ名あるいは機関名 URL （[西暦]年〇月〇日参照）

◎ 『発表会論文』は4ページです。

◎ 提出は、Word ファイルと PDF ファイルの2ファイル共に提出してください。